# OPTICAL INFORMATION RECORDING MEDIUM

Publication number:

JP10112071

Publication date:

1998-04-28

Inventor:

TANAKA NOBUKAZU

Applicant:

NIPPON COLUMBIA

Classification:

- International:

G11B7/24; G11B7/24; (IPC1-7): G11B7/24

- entobesu:

Application number: Priority number(s): ·

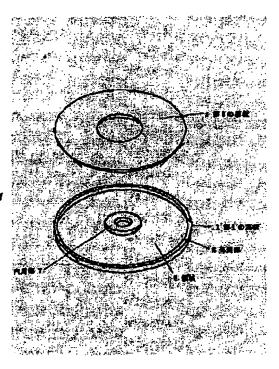
JP19960283150 19961004 JP19960283150 19961004

Report a data error here

PAGE 17/21

#### Abstract of JP10112071

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent the protrusion of an adhesive to a central hole or outer peripheral edge and the difference in the size of an inside diameter or outside diameter from a regulated size which may result after the sticking at the time of sticking a first substrate and a second substrate to each other. SOLUTION: This optical information recording medium has the first substrate 1 including a smooth surface and an information surface formed with a region and the second substrate 3 and is formed by sticking the first substrate 1 and the second substrate 3 via an adhesive layer to each other in such a manner that this information surface faces the adhesive layer side. The substrate thickness of the inner peripheral part 7 of the first substrate 1 has the substrate thickness about twice the substrate thickness of the part exclusive of the inner peripheral part 7 of the first substrate 1. The substrate thickness of the second substrate 3 is approximately equal to the substrate thickness of the part exclusive of the inner peripheral part 7 of the first substrate I. The inside diameter of the second substrate 3 is made approximately equal to the outside diameter of the inner peripheral part 7 of the first substrate 1 and the outside diameter of the second substrate 3 is made approximately equal to the outside diameter of the first substrate 1.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

# 引用文献4

(19)日本国特部 (1P) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出數公園番号

特開平10-112071

(43)公開日 平成10年(1998) 4月28日

(51) Int.CL\* G11B 7/24 腺別配号 541

F 7

G11B 7/24

541D

# 審査請求 未請求 請求項の数2 FD (全 4 頁)

(21)出版書号

特徵平8-283150

(71)出顧人 000004167

日本コロムピア株式会社

(22)出顧日

平成8年(1996)10月4日

東京都港区赤坂4丁目14番14号

(72) 発明者 田中 炸和

神奈川県川崎市川崎区港町5番1号 日本

コロムビア株式会社川崎工場内

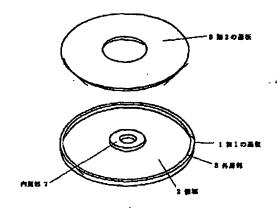
(74)代理人 弁理士 林 賞

## (54) 【発明の名称】 光情報記録媒体

#### (57)【要約】

は、接着剤による貼り合わせの際、中心孔及び外縁部か 5余剰の接着剤がはみ出し、規定寸法に準拠しなかった り、再生装置に正確に装着できない等の問題があった。 【解決手段】平滑面と配録領域が形成された情報菌とを 具備する第1の基板と、第2の基板とを有し、前記第1 の基板と前記第2の基板とを接着層を介し前記情報面が 前記接着層側を向くように貼り合わせた光情報記録媒体 において、前記第1の基板の内周部の基板厚は前記第1 の基板の前記内周部を除く部分の基板厚の略 2 倍の基板 厚を有し、前記第2の基板の基板厚は前記第1の基板の 前記内周部を除く部分の基板厚と略等しく、前記第2の 基板の内径は前記第1の基板の前記内周部の外径と騎等 しく、前記第2の基板の外径は前記第1の基板の外径と 路等しいことを特徴とする構成とした。

【課題】従来の貼り合わせ型の光情報記録媒体において



HSML, P.C. (acp)

特開平10-112071

#### 【特許請求の範囲】

09/22/2006 11:17

【請求項1】平滑面と記録領域が形成された情報面とを 具備する第1の基板と、

第2の基板とを有し、

前記第1の基板と前記第2の基板とを接着層を介し前記 情報面が前記接着層側を向くように貼り合わせた光情報 記録媒体において、

前記第1の基板の内局部の基板厚は前配第1の基板の前 記内周部を除く部分の基板厚の略2倍の基板厚を有し、 前記第2の基板の基板厚は前記第1の基板の前記内開部 10 を除く部分の基板厚と略等しく、

前記第2の基板の内径は前記第1の基板の前記内周部の 外径と略等しく、

前記第2の基板の外径は前記第1の基板の外径と略等し いことを特徴とする光情報記録媒体。

【請求項2】平滑面と記録領域が形成された情報面とを 具備する第1の基板と、

第2の基板とを有し、

前記第1の基板と前配第2の基板とを接着層を介し前記 情報面が前記接着層側を向くように貼り合わせた光情報 20 記録媒体において、

前記第1の基板の内周部及び外周部の基板厚は前記第1 の基板の前記内周部及び前記外周部を除く部分の基板厚 の略2倍の基板厚を有し、

前記第2の基板の基板厚は前記第1の基板の前記内周部 及び前記外周部を除く部分の基板厚と略等しく、

前記第2の基板の内径は前記内周部の外径と略等しく、 前記第2の基板の外径は前配外周部の内径と略等しいこ とを特徴とする光情報記録媒体。

### 【発男の詳細な説明】

[1000]

【発明の属する技術分野】この発明は、2枚の基板を貼 り合わせて1枚の光情報配録媒体を構成する貼り合わせ 型の光情報記録媒体に関する。

100021

【従来の技術】基板の片側の面に記録情報に対応したピ ットと呼ばれる微小な窪みを形成し、基板を通してピッ トにレーザ光の焦点を合わせ、レーザ光の反射光量の変 化によって記録情報を再生する光情報記録媒体は、コン パクトディスク (CD: Compact Disk) が代表的であ る。

【0003】CDは、直径120mm、厚さ1.2mm の基板に1.6μmのトラックピッチで最短ピット長約 O. 9μmのピット列が形成され、再生時の線速度は約 1. 2~1. 4m/s-定であり、約650Mバイトの 記録容量を有しており、音楽や映像等のデジタルデータ が記録されている。以下、CDとは、上記仕様のものと L, CD-ROM (Compact Disk-Read Only Memor y)、Video-CD (Video-Compact Disk) 等も含 むものとする。

【0004】一方、記録密度をCDの約6~8倍に高め たディジタルビデオディスク (DVD: Digital Video Disk) の研究開発が進んでいる。図3は、DVDの断面 構造を示す模式図である。図3に示すようにDVDは、 記録領域12が形成された外径120mm、内径15m m、厚さ0.6mmの第1の基板11と、記録領域を有 さない外径120mm、内径15mm、厚さ0.6mm の第2の基板13とを、記録領域12が内側となるよう に接着層15により貼り合わせた構成となっている。

【0005】ここで、記録領域12の表面は、レーザ光 の殆どを反射するアルミニウム等の金属から成る反射層 14で覆われており、記録情報の再生は第1の基板11 を通して行われる。

【0006】また、第2の基板13にも配録領域を設 け、その上を反射層で覆った両面から再生するタイプの DVD、第1の基板11の記録領域12を覆う反射層1 4を、レーザ光の一部を透過し、残りを反射する誘電体 等から成る半透明層とし、第2の基板13に記録領域を 設け反射層で覆う構成とし、第1の基板11を通して2 つの記録領域を再生することができるタイプのDVDも ある。さらに、第1の基板11及び第2の基板13の両 方に2層づつ記録領域を設け、計4層の記録領域を有す るタイプのDVDもある。

【0007】以上のように、DVDは、CDとは記録フ オーマットが異なるだけでなく、厚さO. 6mm、外径 120mm及び内径15mmである等しい2枚の基板を 接着層を介して貼り合わせた構成となっている。

[0008]

【発明が解決するための課題】従来のDVDの製造工程 においては、1方の基板の貼り合わせ面に接着剤を塗布 し、他方の基板の貼り合わせ面と重ねて貼り合わせを行 っている。しかしながら、接着剤の塗布量が多い場合、 貼り合わせ後の光情報記録媒体の中心孔または外級部か ら余剰の接着剤がはみ出し規定寸法に準拠しなくなった り、再生装置に正確に装着できなくなるという問題があり、 った。

【0009】さらに、DVDは、トラックピッチが従来 のCD等の光情報記録媒体よりも小さいため、再生の際 に得られるトラッキングエラー信号のSN比が小さく、 トラッキングサーボ制御を安定して行うためには、CD 以上に偏心を小さく押さえる必要があるため、貼り合わ せの際に、2枚の基板の中心を厳密に位置合わせする必 要があるという問題があった。

【0010】また、DVDの基板の厚さは、0.6mm と薄いため、たわみ、ねじれ等の歪みが発生しやすく、 2枚の基板を貼り合わせた後でも、反り量が大きいとい う問題があった。

[0011]

【発明を解決するための手段】上記課題を解決するため 50 に本発明の請求項1に記載の発明においては、平滑面と (3)

特開平10-112071

記録領域が形成された情報面とを具備する第1の基板と、第2の基板とを有し、前記第1の基板と前記第2の基板とを接着層を介し前記情報面が前記接着層便を向くように貼り合わせた光情報記録媒体において、前記第1の基板の内周部の基板厚は前記第1の基板の前記内周部を除く部分の基板厚の略2倍の基板厚を有し、前記第2の基板の基板厚と略等しく、前記第2の基板の再移上、前記第2の基板の前記内周部の外径と略等しく、前記第2の基板の外径は前記第1の基板の外径と略等しく、前記第2の基板の外径は前記第1の基板の外径と略等しいことを特徴 10とする構成とした。

【0012】また、本発明の請求項2に記載の発明にお いては、平滑面と記録領域が形成された情報面とを具備 する第1の基板と、第2の基板とを有し、前配第1の基 板と前記第2の基板とを接着層を介し前記情報面が前記 接着層側を向くように貼り合わせた光情報記録媒体にお いて、前記第1の基板の内周部及び外周部の基板厚は前 記第1の基板の前記内周部及び前記外周部を除く部分の 基板犀の路 2倍の基板厚を有し、前配第2の基板の基板 部分の基板厚と略等しく、前記第2の基板の内径は前記 内周部の外径と略等しく、前記第2の基板の外径は前記 外間部の内径と略等しいことを特徴とする構成とした。 【0013】本発明の請求項1に記載の光情報記録媒体 によれば、第1の基板と第2の基板を貼り合わせる際、 貼り合わせ端面が貼り合わせ後の光情報記録媒体の中心 孔にないため、接着剤のはみ出しによる内径寸法への影 變がない。

【0014】さらに、第1の基板の中心孔が貼り合わせ 後の光情報記録媒体の中心孔となるため、2枚の基板を 30 貼り合わせる際、厳密に中心位置を合わせる必要がな

[0015]本発明の請求項2に配数の光情報記録媒体によれば、第1の基板と第2の基板を貼り合わせる際、貼り合わせ端面が貼り合わせ後の光情報記録媒体の中心 孔及び外周線にないため、接着剤のはみ出しによる内外 径寸法への影響がない。

【0016】さらに、第1の基板の内層部及び外層部の 基板厚が内周部及び外周部以外の基板厚の略2倍の基板 厚であるため、たわみ、ねじれ等の歪みが発生しにく く、2枚の基板を貼り合わせた後も、反り量が小さい光 情報記録媒体を提供することができる。

## [0017]

【発明の実施の形態】以下、本発明の光情報記録媒体について図面を用いて詳細に説明する。図1は、本発明の光情報記録媒体の一実施例の模式図である。また、図2は、本発明の光情報記録媒体の一実施例の断面構造を示す模式図である。

【0018】図1及び図2に示すように、本発明の光情 部分の基板厚を0.6mmとした構成であってもよい。 伊記録媒体は、第1の基板1及び第2の基板3を接着層 50 この場合、第2の基板3の内径は第1の基板1の内周部

6を介して貼り合わせた構造となっている。第1の基板 1は、情報が凹凸のピットとして記録されている記録領 域4を有している。本実施例の光情報記録媒体は、記録 領域4を合む領域2の基板厚よりも内周部7及び外周部 8の基板厚が厚くなっている。

【0019】そして、第1の基板1の記録領域4は、アルミニウムまたは金等の金属、合金または、誘電体膜等のいずれかからなる反射層5で覆われており、反射層5の上に紫外線硬化樹脂、エポキシ樹脂等からなる接着層6が形成され第2の基板3と貼り合わされている。

【0020】また、第2の基板3の外径は、第1の基板1の外周部8の内径と略等しく、第2の基板3の内径は、第1の基板1の内周部7の外径と略等しい。さらに、第2の基板3の基板厚は、図2のように接着層6を介して第1の基板1と貼り合わせた場合、第2の基板3の接着層6側と反対側の表面が、第1の基板の内周部7及び外周部8の表面と一致するように選択される。

記第1の基板の前記内周部及び前記外周部を除く部分の 基板厚の路2倍の基板厚を有し、前配第2の基板の基板 厚は前記第1の基板の前記内周部及び前記外周部を除く 20 び外周部8の基板厚を1.2mmとし、第1の基板1の 部分の基板厚と略等しく、前記第2の基板の内径は前記 内径を15mm、外径を120mmとする。

【0022】また、本実施例では、領域2の内径を45 mm、外径を118mmとする。したがって、第2の基板3の基板厚は0.6mm、内径は45mm、外径は118mmとなる。

【0023】以上のような構成とすることにより、第1の基板1及び第2の基板3を貼り合わせた場合、第1の基板1の中心孔9及び外標部10が貼り合わせ後の光情報記録媒体の中心孔及び外線部となり、貼り合わせ端面が貼り合わせ後の光情報記録媒体の中心孔及び外線部にないため、接着剤のはみ出しによる内外径寸法への影響がない。

【0024】次に、本発明の光情報配録媒体を作製し、貼り合わせ後の反り量(基準面に対する反り角度)を倒定した。比較のために、基板厚が0.6mmである2枚の基板を貼り合わせた構成の貼り合わせ型光記録情報記録媒体の反り量も測定した。本発明の光情報記録媒体の最大反り量は基準面に対し0.2°であったのに対し、基板厚が0.6mmである2枚の基板を貼り合わせた構40成の光情報記錄媒体の最大反り量は0.6°であった。このように、本発明の光情報記録媒体は、第1の基板1の内周部7及び外周部8の基板厚が記録領域よりも厚いため、境み、ねじれ等の歪みが発生しにくい構成となっている。

【0025】以上の実施例では、第1の基板1の内周部7及び外周部8の両者の基板厚を1.2mmと厚くした構成としたが、他の実施例として第1の基板1の内周部7の基板厚のみを1.2mmと厚くし、内周部7以外の部分の基板厚を0.6mmとした構成であってもよい。この場合 第2の基板3の内径け第1の基板1の内周部

(4)

特開平10-112071

7の外径と略等しく、外径は第1の基板1の外径と略等 しい。

【0026】この実施例の構成においても、第1の内間 部7の基板厚が1、2mmと厚いため、撓み、ねじれ等 の歪みが発生しにくい構成となる。

【0027】本発明の光情報記録媒体の第1の基板1及 び第2の基板3は、ポリカーボネート樹脂、アクリル樹 脂等の透明樹脂を射出成形することにより形成すること ができる。射出成形機の金型の形状及びスタンパの大き さを最適化することにより、従来の光情報記録媒体の基 10 板成形と同様に、第1の基板1のような、内周部7及び 外周部8の基板厚が厚く、記録領域4が形成されている 領域2の基板厚が薄い基板を成形することができる。

【0028】以上の実施例では、第1の基板1に記録領域4を形成した構成としたが、第2の基板3に記録領域を形成した構成としてもよい。また、第1の基板1及び第2の基板3の両方に記録領域を形成した構成、第1の基板1及び第2の基板3のいずれか一方または両方に2層以上の記録領域を形成した構成としてもよい。

【0029】さらに、本実施例のような再生専用型の光 20 情報記録媒体だけではなく、追記型または書換型の光情報記録媒体についても、本発明の構成を用いることができることはいうまでもない。

[0030]

[発明の効果]以上に示すような構成とすることにより、第1の基板と第2の基板を貼り合わせる際に、接着 剤が中心孔または外周線にはみ出すことがないため、貼り合わせ後の内径または外径の寸法が規定の寸法と異なってしまうことがない。

【0031】また、本発明の光情報記録媒体は、第1の 30 基板の中心孔及び外周線が、貼り合わせ後の光情報記録\*

\*媒体の中心孔または外周縁となるため、第1の基板と第 2の基板を貼り合わせる際に、従来の貼り合わせ型光情 報記録媒体を製造する場合のように、2枚の基板の中心 の位置を正確に合わせる必要がない。したがって、貼り 合わせ工程を非常に容易にすることができる。

【0032】さらに、本発明の光情報記録媒体は、第1 の基板の内周部または外周部の基板厚が記録領域よりも 厚いため、撓み、ねじれ等の歪みが発生しにくく、反り の少ない光情報記録媒体を作製することができる。

10 【図面の簡単な説明】

[図1] 本発明の光情報記録媒体における一実施例の模式図。

【図2】本発明の光情報記録媒体における一実施例の断面構造を示す模式図。

【図3】DVDの断面構造を示す模式図。

【符号の説明】

- 1 第1の基板
- 2 領域
- 3 第2の基板
- 4 紀録領域
- 5 反射層
- 6 接着層
- 7 外周部
- 8 内周部
- 9 中心孔
- 10 外祿部
- 11 第1の基板
- 12 記錄領域
- 13 第2の基板
- 14 反射層

[图2]

